

現地に到着したら

- ・英米語学科及び英語学科の留学アドバイザーの先生方全員に宛てて、到着の報告と電子メールアドレスを伝えるメールを送ってください。
- ・その後、毎月 30 日までに、担当の留学アドバイザーに宛てて、学習状況に関する簡単な報告をしてください。(報告を怠った場合は、帰国後に単位認定を受けることができませんので注意してください。)
- ・履修科目に関する相談、単位認定に関する相談は、必ず履修前に担当の留学アドバイザーに相談してください。
- ・担当の留学アドバイザーにメールを出しても 5 日以上返信がない場合は、他の留学アドバイザーにその旨報告して、指示をあおいでください。

帰国日が決定したら

- ・帰国予定日を担当の留学アドバイザーに報告してください。
- ・単位認定に関して必要な書類の準備をしてください。どのような書類が必要なのかは、『在外留学手引き』に詳細が書かれています。帰国してから不足が見つからないように、現地にいる間にすべての手配を済ませてください。
- ・小論文の作成をしてください。(小論文はオプションです。)専攻語科目(主に語学科目)は留学先で受講した 22.5 時間分を 1 単位 1 科目として換算し認定しますが、小論文が受理されると 22.5 時間分を 2 単位 1 科目として換算し認定することができます(つまり、小論文により 1 単位増加します)。ただし、小論文は 1 科目につき 1 本必要です。また、小論文の数は 1 セメスターにつき最高 2 科目まで(1 年で最高 4 科目まで)です。小論文は留学アドバイザー会議で審査します。この審査を通過しないと単位増加は行われません。どんな論文でも提出すれば単位が自動的にもらえるわけではありません。(小論文の書き方については、"Guideline for research papers for extra credits"と「小論文の提出と単位認定について(補足)」を参照してください。どちらも英米語学科及び英語学科 HP「在学留学中のみなさんへ」にあります。過去の学生たちの提出した小論文のサンプルも英米語学科及び英語学科 HP にあります。)
- ・小論文を添付ファイルで担当の留学アドバイザーに送ってください。小論文は留学中に履修している授業の一部として取り扱うので、帰国後の提出は認めません。

帰国したら

- ・所定の期日までに、国際交流センター事務室と留学アドバイザーに、それぞれ必要書類を提出してください。留学アドバイザーに提出する書類様式は POST からダウンロードできます。POST >cabinet >留学関係>交換・派遣留学//認定留学：外国語学部>単位認定関係書類(帰国後)。提出書類の詳細は『在学留学の手引き』(POST>cabinet でダウンロード可)に書かれています。
- ・担当の留学アドバイザーに連絡し、面談を受けてください。面談して認定書類の確認をし、受領します。専攻語基幹科目の読み替えに際して、追加でレポートを課すことがあります。
- ・担当の留学アドバイザーから、在学留学終了報告書(兼留学体験レポート)に関する指示を受けてください。在学留学を経験したすべての学生に書いてもらい、英米語学科及び英語学科のホームページで一般に公開します。

以上です。